

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2020年12月10日発行

兵庫のみ研究所

前回 (12/7) 調査同様、この海域西部を中心にキートセロスが優占的に多く発生しています。窒素は、陸水等の影響が見られた一部を除き魚住以西で  $1 \mu\text{g-at/L}$  前後、江井ヶ島周辺で概ね  $2 \sim 3 \mu\text{g-at/L}$ 、林崎新漁場東部以東で  $4 \mu\text{g-at/L}$  台でした。

(水温) 漁場内平均  $16.0^\circ\text{C}$ 。平年より  $0.3$ 、昨年より  $0.6^\circ\text{C}$  ともに高い。(塩分) 平均  $31.69\text{psu}$ 。前回 ( $31.60$ ) より  $0.09\text{psu}$  高い。(栄養塩、珪藻) 珪藻はキートセロスが優占的に、コシノディスカスや連鎖して肉眼視される筒状のもの (ギナルディア・デトヌラ等) が確認され、発生量は前回調査と比較し大きな増減は認められない。今回調査は下げ潮時でこれら珪藻の多い海水が魚住周辺まで見られ、窒素は同域で  $1 \mu\text{g-at/L}$  前後と低い状況。江井ヶ島以東では東に進むに従いこれら珪藻は少なく、窒素は江井ヶ島周辺で  $2 \sim 3 \mu\text{g-at/L}$ 、林崎新漁場東部から明石海峡部にかけては  $4 \mu\text{g-at/L}$  台であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	16.3	16.0	15.7	15.4
窒素	1.6	2.5	6.6	2.2
リン	0.41	0.40	0.61	0.50

(12/7)

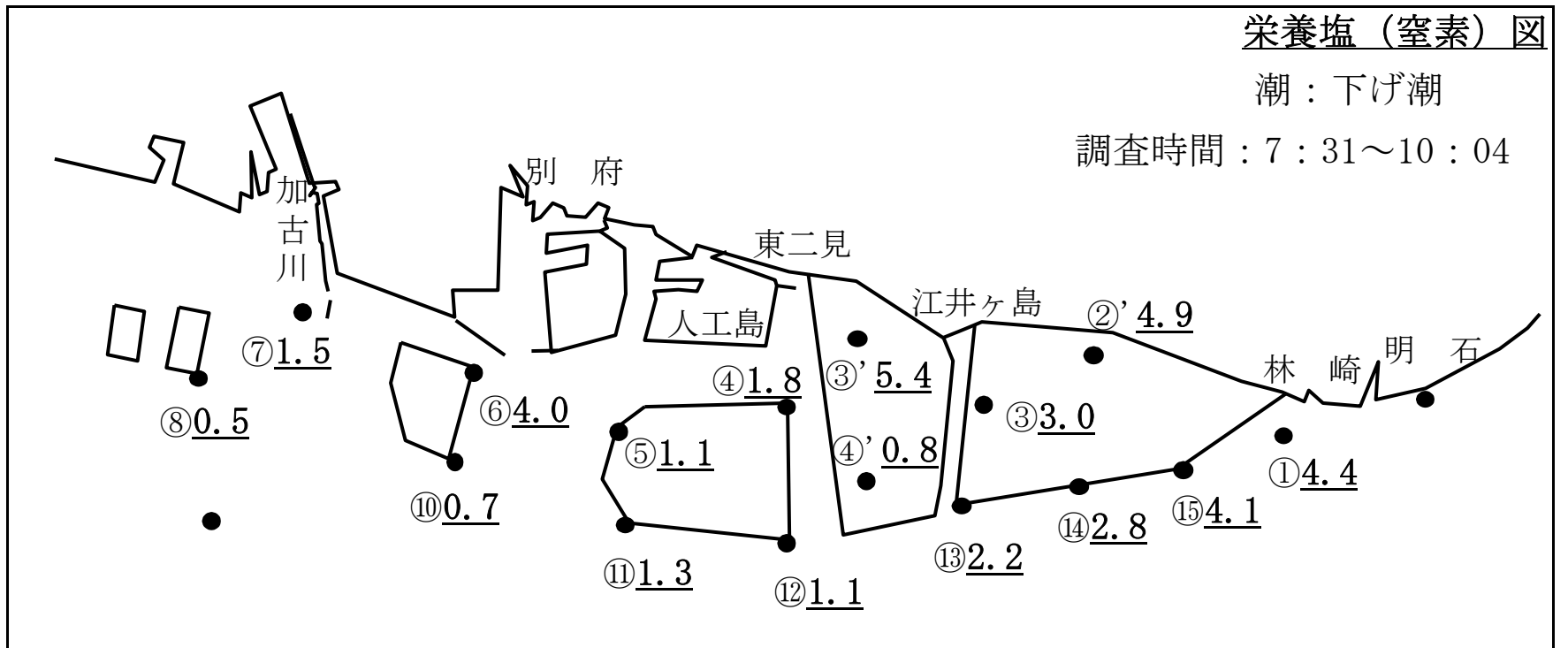
(12/6)

2020年12月10日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：7:31~10:04



## 水温図

